

同情を寄せられた。午後拾時近く職工は辞す

二十六日午前十時の会見。

(会見前日は自筆自印の上で確鑿たる代表者を選定した)

牧本氏及び重役曰く、

今日は諸君は代表者として御出になつたのでありますか。

職工側

左様であります。

会社側

それでは話を進めませう。

他の條件は全部聞き入れるか

七割増給の件は会社側としては倒産債務者に満足した

解

題名を呉へることがあるらしい。

二割増給とてやうう。それ以上は絶対に出さない。

それどころか(と念を押した)

職工側

二割増給では私共は倒産即ち出資者さん。

会社側

諸君は代表者として調印まで取つて選定されたのではありませんか。

それに対して諸君が即ち出資者おわけはあつた。

職工側

七割の要求がその二割とそれより少くは即ち出資者さんから

一同に相談して見なければなりません。

会社側